

イベント情報

きのこのほた木づくり

開館5周年記念事業

雑木林から切り出した原木にきのこ菌を植えてみよう。
きのこの炭火焼きも試食してみよう。

開催日時 3月4日(日) 午前10時から12時まで
開催場所 オオムラサキ自然公園
定員 20名
参加費 ほた木1本につき200円
当日徴収
汚れても良い服装
持ちもの 軍手、木づちまたは金づち

里山の鳥たち(金谷兼義写真展)

開館5周年記念事業

アマチュア写真家金谷兼義さんが里山に住む野鳥を撮りつづけた中から力作34点を選んで展示しています。

開催期間 1月7日(日)から
2月28日(日)まで
開催場所 オオムラサキセンター



「冬を楽しむ」

開館5周年記念イベント 自然を楽しむ!大人プログラム

ネイチャーゲームで冬の自然を感じ、森の木の実などを使って染めた毛糸でコースターを作ったり、アイスクリームを作ったりしながら、冬ならではの楽しみを味わいます。

開催日時 2月4日(日)
午前10時から午後3時まで
受付 9時30分からオオムラサキセンター入口にて
対象 18歳以上
定員 15名(最小催事人員5名)
参加費 500円(材料費等)当日徴収
開催場所 オオムラサキ自然公園
持ちもの 昼食、飲み物、野外で活動できる服装で。

雨天決行

里やまを元気にしよう 11

オオムラサキの里山愛好会ではオオムラサキ自然公園の雑木林で里山活動を毎月行なっています。

里山に関心のある方は、ご参加ください。

開催日時 2月18日(日) 午前9時から
開催場所 オオムラサキ自然公園
内容 雑木林の管理作業。
持ちもの 軍手、作業ができる服装
主催 オオムラサキの里山愛好会

炭焼き教室&焼き芋大会

開館5周年記念事業

雑木林から切り出したクヌギを材料にした炭焼きとたきぎによる焼き芋大会。

開催日時 2月25日(日)
午前10時から12時まで
定員 20名
開催場所 オオムラサキ自然公園
参加 芋1本につき100円
当日徴収
汚れても良い服装



お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/nqs/oomurasaki/index.html>

オオムラサキ通信



発行:平成13年1月25日
編集:長坂町オオムラサキセンター
〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
TEL&Fax 0551-32-6648

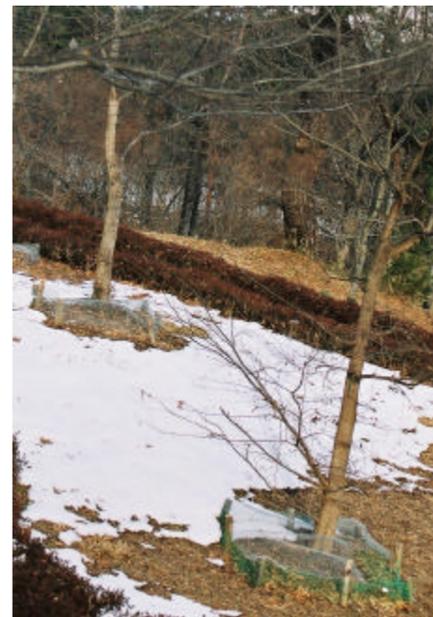
No.33

オオムラサキ最新情報

寒い日が続いています。20日(土)夕方から沢山の雪が降り、積雪は26センチになりました。雪の上を冷たい風が吹き抜けていますが、雪の下のおオムラサキの幼虫たちはどうしているのでしょうか?

エノキの根元の雪を掻き分けて見ると、幼虫たちは、落ち葉にじっとしがみついていた。雪の下は、湿り気があり、温度も安定しています。ハヶ岳から寒い風が吹き降りても、あまり影響を受けることはありません。冬の間、一滴の水分もとらない幼虫にとって、乾燥は大敵です。雪が降ったほうが幼虫にとっては有難いことかもしれません。しかし、降り過ぎると春の訪れが遅くなり、幼虫たちはなかなか目をさましません。春は早く暖かくなって、エノキの葉をたくさん食べたほうが、タマゴを沢山産むことができます。3月25日(日)にどのくらいの幼虫が冬を越せたかという事を調査します。ぜひ参加してください

オオムラサキの4齢幼虫(越冬幼虫)



エノキの根元にネットを張って越冬幼虫を守っています。

寒い日が続いていますが、樹の芽は春の近づきを感じ取っているかのように、ふくらみを持たせています。

オオムラサキ自然公園では、訪れる方たちがオオムラサキの蛹や羽化の場面、成虫の姿をじっくりと観察できるように、6月のオープンを目差して1,400平米の雑木林にネットを張った大型生態観察施設を造っています。

この中に、今やすやすと眠っている幼虫たちを、放すことにしています。この幼虫たちが、大人になって自然に交配して沢山のタマゴを産んでくれることを願っています。卵を沢山産んでくれる環境は、他の昆虫たちにとっても棲みやすい環境なることでしょう。

雪の下の葉の裏に
オオムラサキの幼虫がいるよ!
雪の下の葉の裏に
オオムラサキの幼虫がいるよ!



自然とオオムラサキに親しむ会 朝日 竹夫

寒中お見舞い申し上げます。

会員の皆様つつがなく、新しい年、新世紀を迎えいかがお過ごしですか。

今年も元気で、精一杯自然と、なかよくお付き合いをいたしましょう。自然は素直な気持ちで接すると、身近で思わぬ発見をするものです。庭先で・路傍で・水溜りで・せせらぎで..雑木林で...。一日一つの出会いが一年では365回も有るのです。その中で一つでも二つでも心に触れ、感激するものがあればいいのです。

オオムラサキセンターでは公園等の整備を拡充、「オオムラサキ生態観察施設」を1400平方メートルにしたり「土と生きものの里・農村公園」を東の方に併設して「自然に触れ合う公園・環境づくり」に着手しています。今年六月のオープンと聞きまして嬉しい限りです。今、環境・環境・公害・公害・破壊・破壊 ひいては無差別な殺人...と報道されない日はありません。

今の人の世はどうなっているのでしょうか。

昔は生活の単位が「年」「日」から「時間」となり今は「分」から「秒」「0.0何秒」の世となっています。お忙しい時代ですネ。心にゆとりがなくメカに追われメカに使われて、メカがなければ生きて行けない時代となりました。また、情報化の時代といいますが、心身の正常な人にはよろしいでしょうか、鵜呑みをする人？には・・・と思います。今年も自然と友達になり、素直な気持ちで見つめる 何でもないことの中に「生きるための連鎖」を改めて考え、見付けようと思いました。

新世紀になって大雪で暇な日にフト思い浮かべた事を書いてみました。

どうぞ、今年もよろしくお願いいいたします。

オオムラサキ自然公園の様子

今年はよく雪が降ります。オオムラサキにとっては乾燥から守られるために良いのですが人間にとってはちょっと雪かきが大変・・・。

雪の降った次の日、外を歩いてみるとかわいい足あとがありました。日に照らされた雪の美しさとかわいい小動物の足あとをぜひ、観察しに来て下さい。それでは冬のオオムラサキ自然公園を紹介しましょう。

<鳥たちの姿>

オオムラサキ自然公園にはたくさんの鳥たちが訪れます。雪の上にその小鳥たちのかわいらしい足あとを発見する事が出来ます。白い風景に見える小鳥たちの姿も必見ですよ。

<昆虫たちの様子>

土の下の昆虫は発見するのが大変なので木の上を観察してみるとまさしく「ツリーハウス」を発見！レンギョウの木は居心地がいいみたい。いろいろな巣がありました。写真で紹介します。

<その他の生き物様子>

染めに使うドングリや帽子を拾っているとイタチが通りました。「何をしているのかな？イタチ君。」とこちらも思いましたがきっとあちらも「イタチ君」「何をしているのかな？あなたたちは」と思ったでしょうね。ウサギのフンらしいものを発見！今年はまだ、姿を確認していません。見たいですね。

小鳥のかわいらしい足あとと？

誰の足跡でしょう？



ツリーハウス（オオカマキリの卵のう）



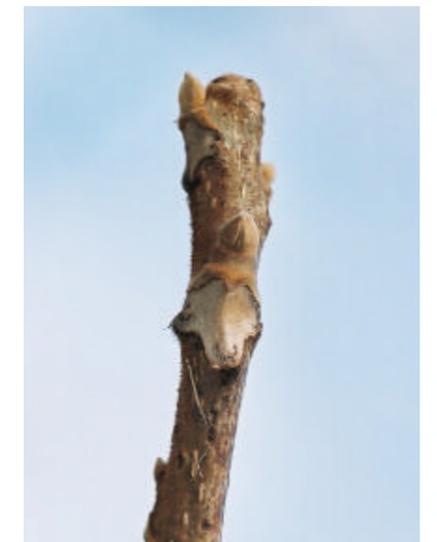
雪が降ったりして寒いのに春一番に咲くレンギョウはもう芽吹いていました。



ホームページを見てね！

オオムラサキセンターのホームページがリニューアルしました。2月からは最新のオオムラサキの様子や公園情報などをのせていきたいと思ひます。ぜひご覧下さい。ご意見やご感想をお待ちしております。

オニグルミの冬芽



今年も・・・

もう「明けまして・・・」ではなくなってしまいましたが、今年、2001年もより良い施設を目指して職員一同、頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願いいいたします。

これからも皆様の暖かいご支援、ご協力をお願いいいたします。

くるりくらのお話しお話し

1月20日(土)オオムラサキセンターにおいて「くるりくらのおはなし会」が開かれました。地元、長坂町で活躍している読み聞かせの会「くるりくら」のみなさんが、スライドを使った読み聞かせやキリギリス君のパネルシアターなどをしてくださいました。その後、廃材のトイレトペーパーの芯を使った工作教室もしてください、かわいいてんとう虫が個性豊に作られていました。

雪が少し舞っていましたが、親子39名が参加し、虫のクイズでは大盛り上がりで、正解すると歓声を上げて喜んでいました！

また、会がはじまる前に、読み聞かせの会のお母さんと一緒に来ていた「まいちゃん」が小さな手で参加者の前で手遊びをしてくれました。親子、手づくりのおはなし会でした。

「寒い一日をあたたかく過ごすことが出来ました。」と参加したお母さんは、自分で作ったてんとう虫を片手に持ち、笑顔で話してくださいました。

「くるりくら」のみなさん、遠方から参加して下さった方々、ありがとうございました。

「虫の絵本展」は縮小はしますが展示を続けたいと思ひますので、まだ、ご覧になっていらっしゃる方はぜひ、お越しください。